

写真を見てください。手に持っているのは東京オリンピックの銅メダルです。栃木市出身です。第五小学校、栃木市の中学校に通っていました。今27才です。

大谷桃子さんといいます。プロの車いすテニスプレーヤーです。テニスを小学校3年生で始めました。とても強い選手で高校生の時には栃木県の代表として全国大会に出場するほどでした。

ところが、18歳のとき、突然、病気になってしまいます。そしてその治療のため、飲んだ薬の副作用によって右半身に麻痺が生じて、障害が残ってしまいます。車いすで生活しなければならなくなってしまったのは、20歳のときでした。

皆さんも想像してみてください。校庭で、元気に遊ぶことができたのに、突然、病気になり、自分の足で歩いたり走ったり、遊んだりすることができなくなる。周りのお友達ができることができなくなってしまふ。

そんなことが起こってしまったのです。

本当に悲しかったと思います。誰かに怒りや悲しみをぶつけたくなると思います。打ちひしがれて何にもする気力がなくなってしまうかもしれません。

桃子さんも、家から外に出ることもなくなりました。その時のことを、ただ寝て起きて食べて寝て起きて食べての繰り返しだったと話していました。でも、そんな桃子さんを励ましてくれたのがお父さんとお母さんでした。

お父さんに連れられて車いすテニスを見にいきます。そこで、桃子さんは、テニスをやりたいと強く思い、大学に通い、テニスの大会に出るようになります。ぐんぐんと力をつけ、海外の大きな大会に出るようになります。

そして、2年前、フランスの世界大会で準優勝。そして、今年の夏、東京で開かれたパラリンピック女子ダブルスで銅メダルをとりました。銅メダル、この笑顔、すてきですね。

でも、インタビューを通して知りました。この笑顔の向こうには、たくさんの苦しみ、悲しみがあつたこと、そしてそれを乗り越える勇気があつたこと。人一倍、努力をしたこと。たくさんの人の励ましや応援。見えないけれども、大切なものがたくさんあることを知りました。

皆さんも、2学期76日を通して、いろいろなことを頑張ってきたことと思います。がんばることや、友達と一緒に励まし合うこと、元気のない友達を応援することなど、思い出してみてくださいね。きっとあつたはずです。

写真には見えないけれど、その頑張りや、皆さん自身の心と体の中に、しっかりと残って、皆さんを大きく成長させます。がんばる心や応援する心が育っているはずです。

今日は、学びのすがたをいただく日です。先生がみなさん一人一人を思いながら、作りました。おうちに帰って、2学期頑張ったこと、楽しかったこと、3学期にがんばることなどをおうちの人に伝えてください。

そして、来年も勉強や友達との活動などの学校生活を頑張る気持ちをもって1月に会いましょう。Merry Christmas and happy new year!!